

今の政治「不満」83%

中高年代で無党派層増

国政選挙のたびにその時流が選挙結果に色濃く反映される埼玉。歴史的な政権交代から3年。県民は今、政治をどう見ているのか。埼玉大学社会学部調査研究センターが5月28日から6月8日にかけて、さいたま市内の有権者1千人を対象にした政治意識調査を実施(回答率65%)。日本世論調査会顧問で同センター長の松本正生教授の考察を盛り込みながら「今の政治への考え方」と「次期衆議院選の投票動向」を柱に結果を2回に分けて報告する(3面に調査結果)。(沢田稔行)

さいたま政治意識調査 上

民主政権継続19%

調査期間は消費税増税関連法案が民主、自民、公明の3党修正合意がなされる直前。この時期に政治への満足度を問うたところ「やや不満」の24%と「かなり不満」の59%を合わせた83%が「不満」と回答。政治不信の高さがあらわに。松本教授は「日本の世論調査結果は通常、『ある程度』とか『どちらかと言えば』といった設問項目の真ん中に答えが集まる傾向にあるが、この設問では一方(かなり不満)に答えが振れている。それだけ不満が強い。このような回答は今までなかった」と指摘する。

さいたま政治意識調査 (1面参照)

- 【今の日本の政治のあり方にどの程度満足していますか】
- 1 かなり満足=0%
 - 2 まあ満足=3%
 - 3 どちらともいえない=13%
 - 4 やや不満=24%
 - 5 かなり不満=59%
 - 6 その他=1%
- 【国や地方の政治にどの程度関心を持っていますか】
- 1 非常にある=16%
 - 2 ある程度ある=64%
 - 3 あまりない=17%
 - 4 全然ない=2%
 - 5 わからない=1%
- 【野田内閣を支持しますか】
- 1 大いに支持する=1%
 - 2 ある程度支持する=29%
 - 3 あまり支持しない=41%
 - 4 まったく支持しない=24%
 - 5 その他=5%
- 【上田清司・埼玉県知事を支持しますか】
- 1 大いに支持する=6%
 - 2 ある程度支持する=57%
 - 3 あまり支持しない=16%
 - 4 まったく支持しない=4%
 - 5 その他=16%
- 【清水勇人・さいたま市長を支持しますか】
- 1 大いに支持する=4%
 - 2 ある程度支持する=52%
 - 3 あまり支持しない=18%
 - 4 まったく支持しない=5%
 - 5 その他=21%
- 【支持している政党がありますか】
- 1 ある=25%
 - 2 ない=68%
 - 3 わからない=9%
- 【民主党に引き続き政権を任せたいと思いますか】
- 1 そう思う=2%
 - 2 どちらかといえばそう思う=17%
 - 3 どちらかといえばそう思わない=26%
 - 4 そうは思わない=42%
 - 5 わからない=14%
- 【今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思えますか】
- 1 国会議員=14%
 - 2 官僚=45%
 - 3 首相=2%
 - 4 国民一人一人=6%
 - 5 大企業=5%
 - 6 マスコミ=9%
 - 7 その他=4%
 - 8 わからない=15%
- 【次の中にある制度や組織、団体をどの程度信頼していますか】
- | 選挙制度 | ある程度信頼できる | あまり信頼できない | 信頼できない | わからない |
|------|-----------|-----------|--------|-------|
| | 6% | 41% | 34% | 12% |
| 政党 | | | | |
| | 1% | 14% | 48% | 29% |
| 国会 | | | | |
| | 0% | 18% | 42% | 32% |
| 中央省庁 | | | | |
| | 1% | 23% | 37% | 28% |
| マスコミ | | | | |
| | 1% | 24% | 40% | 29% |
- 【社会についての情報を何から得ていますか。最も多くの情報を得ているものを一つだけ選んでください】
- | テレビ | ラジオ | 新聞 | インターネット | 家族や友人からの話 | その他 |
|-----|-----|-----|---------|-----------|-----|
| 56% | 4% | 24% | 15% | 1% | 1% |
- 【自宅には家庭用の固定電話がありますか】
- 1 ある90%
 - 2 ない10%
- 【自宅で電話を使う場合、次のどれに当てはまりますか】
- 固定電話だけを使う=13%
 - 携帯電話だけを使う=18%
 - 両方使うが主に固定電話=21%
 - 両方使うが主に携帯電話=38%
 - 両方とも同じ程度使う=12%
 - 両方とも使わない=1%

▽調査方法—郵送による調査表の返信方式で実施。期間は5月28日～6月8日。さいたま市中央区・桜区・南区の選挙人名簿から無作為に千人を抽出、647人(男性46、女性54%)から回答があった。回答率65%。年代は20代9%、30代17%、40代22%、50代16%、60代18%、70代以上18%。職業別では「経営者・役員・管理職」11%、「正社員・正職員」28%、「派遣社員」3%、「パート・アルバイト・契約・臨時・嘱託」19%、「専業主婦(夫)」20%、「学生」3%、「仕事をしていない」16%。

世論調査 郵送の流れ

今回の調査は、世論調査の在り方を分析する狙いを兼ねて実施した。郵送による返信方式で行ったところ、有権者宅の固定電話にかけて回答を得るRDD方式を上回る回答(回答率65%)を得た。

携帯電話の普及を踏まえ、設問で固定電話の有無を聞いたところ「ない」が10%。利用状況を問う設問では「携帯だけ使用」が18%、「両方使うが主に携帯」が36%で、合わせると半数を超える54%が携帯中心の電話対応をしていることが分かった。

携帯派を年代別に分析すると若い年代層が高い。松本教授は「固定電話のRDDだと若い人

固定電話方式上回る回答

「固定電話方式」が「携帯方式」を上回る回答を得た。これは、固定電話方式の方が、調査の信頼性が高いと見られる。松本教授は「緊急世論調査のようなスピードが求められる調査はRDD方式、世論を幅広く正確に調べるには郵送方式。大手報道機関の調査もこの流れになっている」と話している。(沢田稔行)

差がなくなった。逆に言えば、支持政党なし層の50、60代の投票行動が選挙結果を決める。今はこれがはつきりしている」と強調した。

野田内閣の支持率は、報道各社の最近の世論調査と同程度だが、さいたま市内でも厳しい評価が下されている。

一方、政党などの信頼度を問う設問では「あまり信頼できない」と「信頼できない」を合わせた数値は政党77%、国会74%、中央省庁60%、マスコミ69%。マスコミが政党・国会と同程度の値を示していることについて松本教授は

「マスコミに対して若い世代がシビア。今の政治と同じではないか」と指摘。また社会情報の主な入手法を問う設問ではテレビ56%、新聞24%に次いでインターネットが15%。若い世代を中心にネット利用の上昇傾向が示された。